

篠崎五郎関係資料抄（再訂稿）  
—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人—  
—明治警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 7 日（日）現在）

（補正経緯）

HP 初出: 平成 20（2008）年 12 月 14 日（日）初稿作成  
平成 24（2012）年 8 月 31 日（金）改訂稿作成  
令和 4（2022）年 8 月 7 日（日）再訂稿作成  
（レイアウトを全面変更し、一部補正、追加した。）

- ・明治 7（1874）年春、台湾出兵<sup>1</sup>。うち、徴集隊指揮長は坂元純濤（1843～1914）<sup>2</sup>、同指揮副長は、国分友諒（ともさね、1837～1877）<sup>3</sup>及び篠崎五郎（1847～1909）の二人。
- ・徴集隊の台湾での活動については、日高節（みさを）「安立綱之翁叢談」（其の 1～6）『自警』昭和 10 年 1～4、6、7 月号。特に 1、2 月号参照。日高は、鹿児島県指宿郡喜入出身、『明治秘史西郷隆盛暗殺事件』（隼陽社、昭和 13 年 7 月 1 日刊）、『維新経国秘録 海舟と南洲』（大日本皇道奉賛会、昭和 19 年 3 月 20 日刊）等の著者。この他、安立綱之（1859～1938）<sup>4</sup>「大警視のお蔭」中村徳五郎（1873? ～1940）<sup>5</sup>『川路大警視』（日本警察新聞社、昭和 7 年 10 月 1 日刊）347 頁参照。安立は、国分友諒の実弟。
- ・篠崎五郎とは誰か。
- ・篠崎の妹テツ（1853～1906）は、後の警視総監園田安賢（1850～1924）夫人<sup>6</sup>。

<sup>1</sup> 概要につき、例えば毛利敏彦（1932～2016）『台湾出兵』（中公新書、平成 8 年 7 月 15 日刊）参照。徴集隊については、同書 137 頁。

<sup>2</sup> 坂元純濤及び国分友諒については、本 HP 所載別稿「坂元純濤、国分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」参照。<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>>

<sup>3</sup> 国分友諒については、上記註 2 の他、本 HP 所載別稿「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>>をも参照。国分は、台湾出兵時に徴集隊指揮副長として参加するが、帰国後私学校党との間で相容れざるところあって、再び上京し、同 8 年川路利良（1834～1879）の好意で警察に復帰する。その後、西南戦争中の明治 10（1877）年 4 月 3 日に、熊本県下益城郡中央村堅志田（かたしだ）で戦死した。官軍戦死者中最高位の人物との由。

<sup>4</sup> <<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%89%E7%AB%8B%E7%B6%B1%E4%B9%8B>>（平成 24 年 8 月 31 日追加）

<sup>5</sup> <<http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/N/nakamura tk.html>>（平成 24 年 8 月 31 日追加）

<sup>6</sup> 中原英典「園田安賢履歴ノート（上）—続・明治警察史資料（3）」『警察研究』第 49 巻第 6 号（昭和 53 年 6 月刊）27 頁には、篠崎の二女とある。これは、下に引用の維新史料編纂会編『華族譜要』（初版：『現代華族譜要』（昭和 4 年 1 月刊）。復刻版：大原 新生社、昭和 51 年 3 月 15 日刊）405 頁に依る由であるが、正しくは妹である（前掲日高節「安立綱之翁叢談 其 1」『自警』昭和 10 年 1 月号 132 頁参照。）。

「男爵 園田實 従四、勲四、海軍大佐、東京市外淀橋、角筈 725

園田實：園田安賢（1850～1924）長男（明治 17 年 4 月生、夫人八千代、伯東郷平八郎二女、明治 24 年 10 月生）

- ・篠崎五郎につき、例えば、下記参照。
- ・〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AF%A0%E5%B4%8E%E4%BA%94%E9%83%8E>〉  
(令和 4 (2022) 年 8 月 7 日追加)
- ・国立国会図書館近代デジタルライブラリー 〈<http://kindai.ndl.go.jp/>〉 中の大岡力『地方長官人物評』(長島為一郎、明治 25 年 10 月刊) 128~132 頁 (肖像あり。近代デジタルライブラリー: 95~98 齣 → 現在は国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉 (令和 4 (2022) 年 8 月 7 日追加)
- ・大植四郎(1896~?)『明治過去帳 物故人名辞典』(昭和 10 年 12 月 25 日原著私家版刊。東京美術、昭和 46 年 11 月 20 日新訂初版刊) 1123 頁  
(令和 4 (2022) 年 8 月 7 日追加: 大植四郎『国民過去帳. 明治之巻』(大阪・尚古房、昭和 10 年 12 月 25 日刊) 〈<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1262271>〉)
- ・上記大植四郎『明治過去帳 物故人名辞典』1123 頁記載事項は、以下のとおり。  
「元新潟県令従三位勲四等 鹿兒島県士族にして天資清廉恬淡名聞利達を求めず夙に故川路大警視の下に其才能を發揮し明治七年征蕃の役徴集隊指揮副長と為り九年頃兵庫県二等警部を拝命十二年一等警部に進み十四年同県少書記官に任じ正七位に、十七年一月八日同大書記官に昇り三月十日従六位に、十八年四月十八日永山盛輝の後を継いで新潟県令に擢てられ六月五日従五位に叙し尋で同県知事(奏一下)に遷る一時警視總監に擬せられ名声嘖々たり又牛尾金山会社長に推さる四十二年八月十五日鹿兒島県桜島温泉に病薨す十六日特旨を以て従三位に進めらる。」

\*\*\*\*\*

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧 (抄) (令和 4 (2022) 年 8 月 7 日追加)

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』」検討資料」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』(増訂三版、明治 25 (1892) 年 2 月 18 日刊)」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑(碑文全文、付句読点文、書下し文)—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉

---

園田安賢夫人テツ (1853~1906) : 篠崎彦之丞二女、嘉永 6 年 9 月生、明治 39 年 3 月逝去」

- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について（再訂稿）—原田弘先生のお教えに接して—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— —明治警察史の一齣—」  
（本稿） 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考） 渡辺忠威氏警察史関係文献抄」  
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

\*\*\*\*\*

【関連事項】（令和4年8月7日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）  
〈[https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital\\_transmission/individuals\\_index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）  
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）